

3 松脂の塊を砕く（粉末にする）



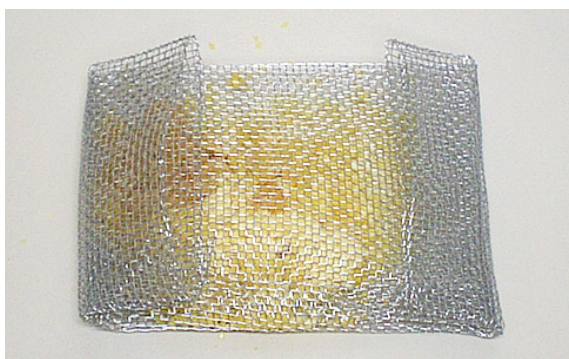
写真上から：
金網
松脂の塊
乳鉢と乳棒
布
ザラ紙

松脂は塊で売られている。アクアチントに用いるには、粉末の状態にしなければならない。先に小さく砕いて、乳鉢で粉末にしてもよいが、次に述べるやり方で十分である。

松脂は、アクアチント・ボックスの大きさに応じた量を用意する。その松脂の塊を簡便に砕く為に金網に包み、さらにザラ紙（または古新聞紙）と布で包む。それをコンクリート上で金槌で粉砕する。このようにすると簡単に粉末にすることができる。また、松脂は見た目以上に微粒子なので吸い込んだり、辺りを汚すと始末が悪いので扱いには注意する。



1. 写真は固形の松脂である。このままでは使えないので、粉末にする必要がある。



2. 写真はザラ紙の上で、固形の松脂を金網でくるんだ状態。



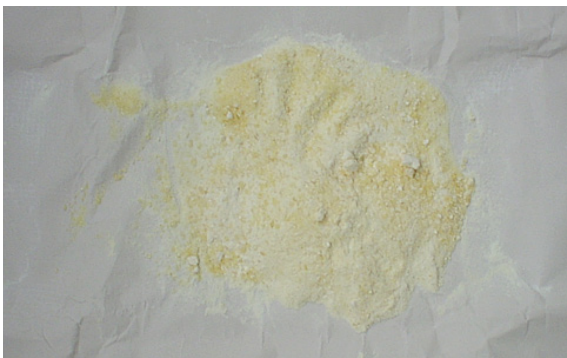
3. 松脂の塊を金網でくるんだ後、下敷きをしているザラ紙で包み込む。



4. ザラ紙の上から叩くと紙が破けるので、もう一度布で包み込む。その後、コンクリートの上でまんべんなく叩き潰す。



5. 写真は叩いた後、ザラ紙を開けた状態。



6. 金網を取り除いた状態。松脂の塊すべてが粉末になってはいないが、アクアチント・ボックスで使う分には問題ない。粉末になった松脂は、アクアチント・ボックスに移す。



7. 松脂の粉末を手で散布する際にもハンマーで砕いただけで十分であるが、さらに均一な微粉末を望むなら乳鉢で磨り潰すのもよいだろう。この写真は説明の為にだけ掲載した。

松脂の粉末を手で散布する

手で散布するなら、粉末を綿布(晒し布)で包む。大きさは、あまりにも小さすぎると効率が悪いので、最小でもリング大にする。散布するときは松脂の粉末が飛散しないように、段ボール箱や衣装ケースを用いてもよいだろう。また、この綿布に包んだものを直接手にして叩き散布するよりも、箔筒のようなものを作るか、身近にある容器の中に入れて用いる方が扱いやすいだろう。尚、綿布にくるんだ松脂の粉末は、ビニール袋か適当な容器に入れて保存する。そのままではこぼれた松脂がにちゃつく。そして、松脂を扱うときは無風の状態でいき、散布の際は吸い込まないように注意する。

